

令和 5 年度 12月号
学校だより



横浜市立今宿小学校

<今宿小学校学校教育目標>

- ☆☆育てたい「いまじゅくの子」☆☆
- い ○いきいきとした心と体をつくる子(体)
 - ま ○学びをいかそうとする子(知)
 - じ ○自分とみんなを大切にする子(徳)
 - ゆ ○ゆめをもち人の役に立とうとする子(公)
 - く ○くらしをよりよくしようとし世界に目を向ける子(開)



今宿小学校
WEB ページ

五つの誓い

校長 島田 恒弘

12月10日は世界人権宣言が採択された日です。今宿小学校でも12月を人権月間として様々な取組を行います。「人権」というと難しく感じるかもしれませんが、「命と幸せを大切に生きていくこと」と、昨年、人権移動教室で学びました。

誰の「命と幸せ」と言うかと、「自分とみんな」です。「みんな」というのは、「自分の周りにいる人」です。家族(親や兄弟姉妹)、クラスや学年の友達、登校班、ふれあい班、習い事の仲間など自分の周りにはたくさんの方がいます。「自分とみんなの命と幸せを大切にする」には、どうしたらよいのでしょうか。

私は、「五つの誓い」を守ることが、その一つの答えではないかと思っています。「五つの誓い」は、中学校の先生をしていた方が首の骨を折り動けなくなって絶望した後、様々な人の応援を受けて生きようと思った時に自分に誓ったことだそうです。

だからこそ、社会復帰するときには「自分の命の使い方」を真剣に考えました。もし、このケガをしなかったら、僕は「命の使い方」なんて考えなかったと思います。実際、ケガをする前は考えていませんでした。なぜなら、命があること、生きていることは、当たり前だったから。

でも、命があることも生きていることも当たり前ではないということに気づかされました。そこで決めたこと。

それは、「自分と他人の命を傷つけない」ということ、そして、「命の喜ぶ生き方をする」ということでした。

それを具体的に行動に移すための自分との約束が、「五つの誓い」です。

(『命の授業』腰塚勇人オフィシャルサイトより抜粋)

口は、人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう
耳は、人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう
目は、人のよいところを見るために使おう
手足は、人を助けるために使おう
心は、人の痛みがわかるために使おう

私自身、15年ほど前にこの言葉に出会ったのですが、この誓いを意識することで、発する言葉や人への接し方が少し変わった気がしました。

嫌なことやイライラすることがあったとき、つい、相手を責める言葉を言ってしまうがちですが、相手を責める言葉は、相手を傷つけ、嫌なことやイライラを広げてしまいます。

お互いが「五つの誓い」を意識して言葉を発し、人と接すれば、自分もみんなも笑顔になるのではないのでしょうか。また、仲が良くても絶対言ってはいけない言葉があります。ご家族で「人権」について話し合ってみてください。

地域の皆様におかれましては、年末を控えお忙しいことと存じます。登下校の見守りや地域行事でのお声掛けに心より感謝申し上げます。

さて、12月11日より学校評価アンケートを開始します。スマートフォンでお答えいただけるように準備を進めています。今年度の取組についてご回答くださいますようお願いいたします。地域代表の方にもご協力いただき、2月の学校説明会で学校評価アンケートの結果をご報告させていただく予定です。